

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 5年11月 20日

事業所名 こばんはうすさくら八幡西割子川教室

保護者等数(児童数) 34 回収数 28 割合 82 %

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 | |
|------------------------|---|----|---------------|-----|-------|---|---|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 25 | | | 3 | ・広くて明るく思います。 ・運動する活動も出来ているようで安心していきます。 | ・教室内には必要最低限のものしか置かないように配置し、机や椅子も移動できます。 | |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 27 | | | 1 | ・理学療法士や保育士などの先生がいるので色々な相談も出来ます。 | ・主に保育士・児童指導員が勤務しております。専門性のある職種を転職させる検討もしております。また様々な研修に参加する機会を設けており、遠隔での研修体制も整えています。 | |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 20 | 3 | | | ・玄関の段差は少し気になります。 ・特に問題があるようには感じていません。 | ・危険と思われる場所に関しては職員が付き添いで支援できるように配置してまいります。 | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 25 | | | | 3 | | |
| 適切な支援の提供 | 5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか | 26 | 1 | | 1 | ・目標に向けて支援してもらって達成出来ました。 | ・今後も目標に向かって支援していければと思います。 | |
| | 6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 24 | 2 | | | 2 | | |
| | 7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 28 | | | | ・プログラムの内容以上に様々なことをしてもらっています。 | ・季節に応じたイベントなども継続して行います。 | |
| | 8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 25 | | | 2 | 1 | ・色々な場所に連れて行ってもらいありがとうございます。 | |
| | 9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 2 | 2 | 20 | 4 | | | |
| 保護者への説明等 | 10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 28 | | | | ・契約の際に説明してもらっています。 | ・変更があった際は再度説明します。 | |
| | 11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 24 | 2 | | | 2 | | |
| | 12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか | 12 | 3 | 12 | 1 | ・感染症の緩和がありました。施設へ行き何かすることはまだまだ難しいと思っています。 | ・施設見学などは相談していただければ出来ますので連絡していただければと思います。 | |
| | 13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 20 | 2 | | | 6 | ・定期的に連絡があります。 ・活動内容、様子を話してくれるので助かっています。 | ・気軽にメールなどでも問い合わせできますのでいつでもご連絡できます。 |
| | 14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 18 | 5 | | | 5 | よく話を聞いてくれていますが、特別に教室面談していただければと思います。 | ・感染症の規制緩和もあり今後は全児童・ご家庭対象で実施する方向で動いています。ご都合によりご自宅等も対応可能です。 |
| | 15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | | 2 | 26 | | | ・特別に交流したいということはないです。 | ・新型コロナウイルス以降により今後は感染症の流行状況に応じて開催を模索してまいります。 |
| | 16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 26 | 1 | | | 1 | ・いつも早く対応してくださっています。 | ・継続して対応させていただきます。 |
| | 17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 25 | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 25 | 3 | | | | ・写真を見たりできるのでブログを楽しみにしています。 | ・定期的な更新を行います。 |
| 19 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 28 | | | | | | ・鍵付きの書庫を使用しております。 | |
| 非常時等の対応 | 20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 20 | 2 | 2 | 4 | ・口頭で説明していただきました。 | ・実際の場所や方法を直接説明するとともに、ご家庭へ配布できるマニュアルの制作検討しています。 | |
| | 21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 26 | | | | 2 | ・毎月プログラムに入っています。 | ・毎日出席される児童ばかりではないため、法定回数よりも多く引き続き活動で行っています。 |
| 満足度 | 22 子どもは通所を楽しみにしているか | 28 | | | | ・いつも行きたいといい朝から利用させてもらっています。 | ・子供の笑顔が増えるように活動など考えていきます。 | |
| | 23 事業所の支援に満足しているか | 27 | | | | 1 | ・いつも迅速な対応ありがとうございます。 | ・今後も様々な方面から支援できるようにと思います。 |

509 29 63 43

79%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 11月 20日

事業所名 こぼんはうすくら八幡西割子川教室

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--|--|----|--|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 15 | | 国の設備基準である児童一人当たり3㎡以上かつ死角のない指導員の目が届く1つの空間で集団療育を行えるスペースはあると思います | |
| | 2 職員の配置数は適切であるか | 15 | | 児童10人に対し指導員2人以上という国の人員配置基準より増員した人員配置を常に行い、加配人員もいます。 | |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 14 | 1 | 道具の収納や来所から身支度の準備などは児童がわかりやすいように写真等で視覚支援を行っている。バリアフリーが必要なお子様はいらっしゃるが入口の階段は段があるのでそこは職員が手さしがついて登るようになっている。 | 入口の段差に手すりがあればと思います。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 15 | | 毎日の清掃や消毒に加えて、空気清浄機の設置など行い過ごしやすい空間づくりを考えています。また児童の動きがとれるように棚などの設置場所をなるべく少なくし運動なども出来るようにしています。 | |
| 業務改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 10 | 5 | 月に1度の会議と各児童の支援しやすく把握できるように資料作りをしています。 | 情報の確認する時間を明確に設けて行ければと考えます。 |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 15 | | アンケート結果を受け止めて、保護者様の意見も参考にしてお応じていきます。 | |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 15 | | 前回の結果を職員間で話、事業所のホームページで公開している | アンケート結果に基づき希望者の保護者面談を行います。 |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | 15 | 今後も第三者評価に関しては導入を検討していく方針です。 | |
| | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 14 | 1 | 月に1度の職員研修や指定ページのハウスルールの読み込み、支援方法に関する動画視聴などをしている | 外部での研修をもっと参加できるように思います。 |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 15 | | 各教室の職員が児童・保護者様との話し合いをしっかりと行っています。 | |
| | 11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 15 | | | |
| | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 13 | 2 | ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に則した支援内容を個別支援計画に掲げています。 | 個別支援計画で教室で出来ることに対して情報をファイルで共有し統一した支援を行っています。 |
| | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 15 | | 連絡帳や職員共通の確認できるボードを用意し各児童に寄り添った支援を行っています。 | |
| | 14 活動プログラムの立案をチームで行っている | 15 | | 月に一度、1ヶ月先のプログラムについて会議の場を設けています。 | |
| | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 14 | 1 | 季節のイベントに応じたプログラムなど取り入れて様々なプログラムに取り組めるようにしている | 地域のイベントなどにも参加できるように情報収集します。 |
| | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している | 15 | | 児童の発達段階に応じて、個別の課題と社会性等の集団行動について作成しています。 | |
| | 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 15 | | 朝礼での確認はもちろん、役割分担することで1日の支援について支援での職員配置など細かく話しています。 | 朝礼に出れない職員は朝礼に出た職員が話をしています。 |
| | 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 12 | 3 | 終礼の時間を設けており、児童の様子はもちろん、職員間での連携や業務内容についての振り返りを行っています。 | 終礼に出ない職員は次回出勤時に日報にて確認している |
| | 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 13 | 2 | 記録についてはなるべくパソコンにデータ化することで職員が確認しやすくなっています。また突発的な内容については手書きにて記録しています。 | 記録の印刷と、パソコンのデータをいつでも見ることが出来ます。 |
| 関係機関や保護 | 20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 15 | | かかわっている職員からの情報収集は常に行い、最低でも半年に一回は見直しを行っています。 | |
| | 21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 15 | | 開催される場合には、可能な限り児童発達支援管理責任者・管理者・指導員が参加しています。他施設へ行き会議への参加も行っています。 | |
| | 22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 15 | | 必要に応じて関係機関と連携しながらご家庭のサポートを行っています。 | |
| | 23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 10 | 5 | | * 現在該当児童の在籍はありません。 * 必要に応じて連携について保護者と相談しながら行います。 |
| | 24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 10 | 5 | | * 現在該当児童の在籍はありません。 * 必要に応じて連携について保護者と相談しながら行います。 |
| 25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 14 | 1 | 幼稚園など日々の様子や、最近出てきた特徴、上手になった支援方法などを共有しています。 | 送迎時に話すことを徹底し、必要であればケース会議、電話対応を行っています。 | |

| | | | | | | |
|------------|--|--|----|---|---|--------------------------------------|
| 保護者との連携 | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 13 | 2 | 保護者の要望によって行っております。 | 送迎時に話すことを徹底し、必要であればケース会議、電話対応行っています。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 15 | | センターやセンターに属する相談事業所などの情報共有を行うことがありますが、研修などには至れず今後積極的に情報収集に動きたいと思います。またZOOMなどでの研修体制を整えたので今後感染予防の観点から遠 | 多事業所での計画書などの確認行っています。統一した支援を目指しています。 |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | 10 | 5 | 現状感染症に対しての制限が緩和されていますが油断が許されないこともありますので徐々に機会を設けて行きます。 | |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 10 | 5 | 現状感染症に対しての制限が緩和されていますが油断が許されないこともありますので徐々に機会を設けて行きます。 | |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 15 | | 必要と判断すれば時間を設け、直接話を市に職員が行っています。基本は送迎時やお電話等で情報共有や情報収集を行うようにしております。 | |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | | 15 | 現状感染症に対しての制限が緩和されていますが油断が許されないこともありますので徐々に機会を設けて行きます。 | |
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 15 | | 利用開始時に書面を用いてご説明をさせていただいております。 | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 15 | | ガイドラインについてはご契約時に説明をさせていただき、支援計画は最低半年に一度は更新を行い、保護者様からの同意をいただいております。 | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 15 | | 日ごろから電話や送迎時に話す時間を設けています。内容を職員間で共有し支援方法について会議しています。 | |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | 15 | 現状感染症に対しての制限が緩和されていますが油断が許されないこともありますので徐々に機会を設けて行きます。 | 各ご家庭の希望があれば、個別での面談を進めています。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 15 | | 相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応できるよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。 | |
| 非常時等の対応 | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 15 | | 毎月1回以上のブログ更新を予定し実行しています。必要な時は連絡帳にお手紙を入れています。 | |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 15 | | 鍵付きのロッカーを使用し注意しています。 | |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 15 | | 視覚支援を中心に行い児童に情報が伝達しやすくなるよう対応しています。様々な場面の絵を用意し聴覚と視覚での情報伝達を行っています。 | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 2 | 13 | 地域の清掃や文化祭への参加は行っている | 職員は清掃活動、児童は地域のお祭りなどに徐々に参加しています。 |
| | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 11 | 4 | マニュアルについて職員会議にて対応方法等の確認を行っておりますが、周知・訓練や保護者への周知について十分でない部分もあり、改善に努めます。マニュアルについても定期的に修正していきます。 | |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 10 | 5 | 毎月プログラムで避難訓練を入れて様々な事例を想定して行っています。 | |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 15 | | 契約時にお薬手帳のコピーをいただいております。また、てんかんについても状況を開き起こりそうな予兆やシーンがあれば事前に保護者様と連携をするようにしております。 | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 15 | | 毎日のお菓子の提供や給食の弁当、イベントにおいてもアレルギーは食品保管場所に児童ごとに明記し対応を徹底しています。 | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 15 | | 毎月1事例以上全職員が作成し会議で確認しています。 | |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 15 | | 社内研修を行い、防止に取り組んでおりますが、外部研修なども必要に応じて参加していきたいと考えています。 | 研修を今後も行い、外部の研修などにも参加できればと思います。 |
| 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 15 | | *身体拘束に関しては、『利用者又は他の利用者の生命又は身体を保護するため緊急でやむを得ない場合を除き、行動制限その他利用者の行動を制限する行為を行いません。』という内容を契約時に書面にて説明をさせていただいております。※現時点で必要な児童の在籍はありません。 | | |